

船橋地域福祉相談会「船橋福祉塾」

【支援金確定額：275,429円 支援率：50%】

記入日：平成27年5月28日

■どのような活動をしている団体ですか？

船橋地域における福祉・介護・医療の充実を目的とし、包括的なシステム構築実現に向けて活動しています。そのためには、医師を始めとする専門職のみならず、サービスを受ける側である地域住民をも含めた新たな関係（連携）が必要です。専門職がそれぞれの仕事を通じて得た知識と経験を有効に活用し、地域住民とともに新しいサービスシステムを創出し、広く普及させるべく活動を継続して行っています。

平成27年3月現在で、会員数は65人です。本機構の理念を実現するため、講演会・相談会等の開催、そして、連携を行うためのシステム作りを継続的に行っています。



【相談風景－1】

■事業提案型支援金をどのように活用されましたか？

平成26年度は「船橋福祉塾」と称する、無料公開相談事業を11回開催しました。生活習慣病、メンタルヘルス、子育て、認知症、後見制度、介護、歯科などについて市民の皆様の疑問に専門家がお答えするという内容です。この企画の一番の問題点は、どのようにして市民の皆様に周知して趣旨を理解していただくかという点でした。行政の広報は利用させて頂きましたが、それだけでは宣伝が不十分であり、毎回開催の都度チラシを作成し、保健センター、公民館、介護施設、医療機関等への配布が必要でした。そのため支援金は主に相談会会場費およびチラシ作成に活用させて頂きました。



【相談風景－2】

◆事業を実施することで、どのような成果がありましたか？

過去4年間にわたり、地域住民に向けて公開講座・シンポジウムを開催してきましたが、平成25年度はレストランを借りて「生活習慣病防止のための食」というテーマで、人数を限定して市民参加型のシンポジウムを行い、好評を得ました。平成26年度はさらに一步進めて、公開講座を開催したあとに無料公開の福祉・介護・医療相談会を開催しました。参加者は公開講座のテーマに関する質問や、常日頃悩んでいる様々な問題の相談を多数寄せて下さいました。当機構の会員には様々な職種 of 専門職があり、会員が相談を聞いて回答するので参加された方は皆様非常に満足されており、活動の目標は達成できたと感じています。



【シンポジウム風景】

■今後の活動の抱負について

平成27年度以降は、平成26年度に船橋市市民公益活動公募型支援事業として採択された「船橋地域福祉相談会」を、行政から新たに委託を受けて「医療・介護相談サロン事業」として実施します。その他、独自主催の公開講演会を10回開催予定しています。また、公益財団法人勇美記念財団助成による「在宅緩和ケアに関するシンポジウム」を7月に開催予定です。その他、第4回ふなばし福祉まつり in イオンモール船橋に参画します。今後も相談会、公開講座、シンポジウムを通じて会員数をふやし、地域住民とともに福祉・介護・医療システムの構築を継続していく予定です。

■問い合わせ先：理事 鶴澤 龍一（うざわ りゅういち）

TEL：047-456-8040

E-mail：funabasi.fukusi.kikou@gmail.com